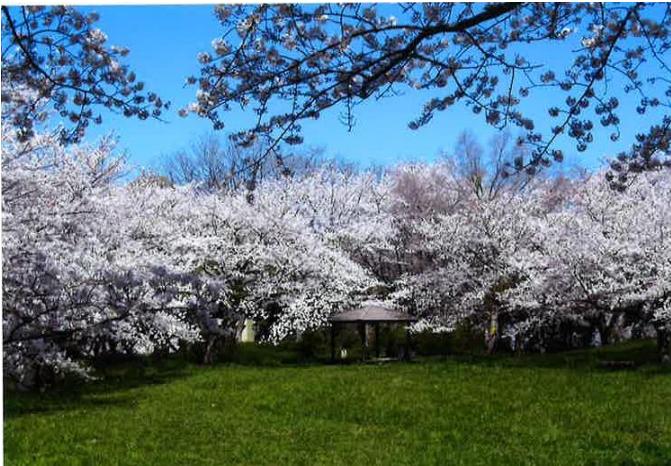
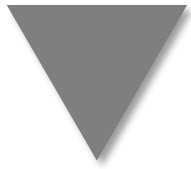


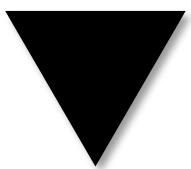
KUROSAKI 2023



黒崎地区 第一次

小地域福祉活動計画

誰もが安心して暮らせる
支えあいのまちづくり



2027

ごあいさつ

黒崎地区社会福祉協議会は平成11年の発足以来、明るく安心して住み続けられるまちづくりを目指しています。

『自分たちの住む地域は自分たちで』をモットーとして活動への住民参加を促進し、支えあいを強め絆を深めることを目標として活動して参りました。

毎月開催される連絡調整会議においては、社協のメンバーのみならず、福祉に関連する諸団体の方々にも参加していただき、意見や情報の交換を通してより社会性の高い活動を行ってまいりました。一方、当地区に居住される一人暮らしの高齢者は当会発足後と比較すると大幅に増加しました。同時に活動の担い手である社協の方々も高齢化が進捗しました。この二つの高齢化が活動の円滑な進行に影を落とすつつあります。

これら直面する諸問題に向き合い福祉の向上をはかるため、このたび、今後5年間の活動指針となる「小地域福祉活動計画」を策定し、大きな三つの目標を掲げました。

第一に福祉の向上をより一層図るための「ふくしのまちづくり」活動の強化。第二に今後の日本を支えてくれる子どもたちがより健全に育つよう「子どもとの交流」事業を強化すること。第三に私たちの住む「地域の更なる活性化」をめざして計画を実行していくこと。

そのためには私たち社協に関連する諸団体の方々のご協力を得ながら諸計画を実現させ、より住みやすい地域の環境に改善するべく努力していきたいと考えております。

皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

令和5(2023)年3月



黒崎地区社会福祉協議会
会長 花田 修

も く じ

第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 黒崎地区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 目標とする事業（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	8
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	9
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、黒崎地区の様々な福祉課題を解決するために、既存の活動を活かしながら、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、黒崎地区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 黒崎地区社会福祉協議会の活動指針となる計画

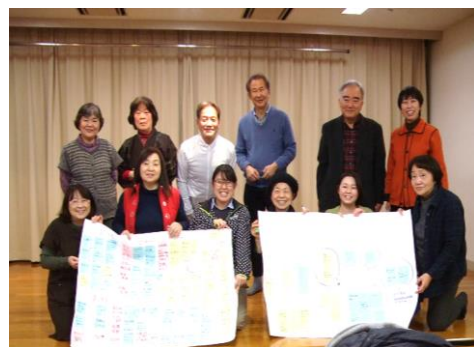
この計画は、社会福祉協議会が地域福祉活動の中核的な団体として多様な団体と連携を図りながら地域福祉を推進するために今後の活動方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有しています。

2 計画の期間

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

黒崎地区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、既存の活動を活かしながら、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、黒崎地区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、黒崎地区「小地域福祉活動計画」を策定しました。



第2章 黒崎地区の現状と課題

1 地域の特徴

	平成 14(2002)年 9 月 30 日	平成 24(2012)年 9 月 30 日	令和 4 年(2022)年 9 月 30 日
世 帯 数	4,691 世帯	5,222 世帯	5,962 世帯
人 口	9,576 人	9,896 人	10,174 人
1 4 歳 以 下	1,081 人(11.3%)	1,188 人(12.0%)	991 人(9.7%)
6 5 歳 以 上	2,126 人(22.2%)	2,490 人(25.2%)	2,823 人(27.7%)

地域活動団体数	10 団体	市 民 セ ン タ ー	黒崎市民センター
小学校	黒崎中央小学校	中 学 校	黒崎中学校
包括支援センター	西 4		

黒崎地区は JR 黒崎駅を有し、八幡西区のほぼ中央にある地域です。市民センターも地区の中心にあり黒崎体育館を併設しています。各団体、地区ごとの活動も活発です。駅前には商店街が広がっています。

地区には様々な診療科の病院が複数あるので、医療機関にも恵まれています。こうした豊かな環境の中で、大規模マンションの建設が進み、人口が増加傾向にあります。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●どうする？黒崎地区の福祉

- ・黒崎地区では社会福祉協議会の福祉協力員と民生委員が連携して75歳以上の高齢者宅や、ちょっと気になる方などを定期的に訪問し、見守り活動を行っています。また、歩こう会やピンシャン会などのサロンを定期開催し、地域の方の健康に留意した活動を行っていますが、高齢化により活動者は減少傾向にあります。

●どうする？黒崎地区の子どもたちの未来

- ・黒崎地区は、街なかにも関わらず、公共の場である公園と神社仏閣が沢山ありますが、現在は子どもが遊ぶ姿を見かけることが少なくなりました。

●どうする？黒崎地区のまちの未来

- ・地区内には大規模であり歴史のある商店街がありますが、商店街で働く方の多くは地域外からの通勤であるため、交流の機会が限定されています。お互いの情報が見えず、十分な協力ができていないのが現状です。



第3章 計画体系

黒崎地区では、地域共生社会の実現に向けて、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願い、基本理念と基本目標、具体的な取組みを定めました。

1 基本理念

「誰もが安心して暮らせる支えあいのまちづくり」

2 基本目標

(1) ふくしのまちづくり

基本理念に則り、ラジオ体操に着目してみました。現在は夏休み中のみ実施していますが、年間を通して、いつでも誰でも気軽に参加できる、居場所づくりと安否確認を兼ねた活動にして行けることを目指します。また、参加者の中に地区の活動に興味をもってくださる方がいれば新たな人材の発掘に繋げていくことができます。

(2) 子どもとの交流

黒崎地区には、お祭り以外にもいろいろな行事があります。その行事に、昔あそびの要素を加え、高齢者と子どもとの交流につなげる体制づくりを行います。また、PTAや神社仏閣、保護者とも連携し、地域みんなで見守る、見守られることを目標とします。

(3) 地域の活性化

黒崎地区の福祉を充実させるためには、まち全体が元気であることが大切です。商店街と住民の交流を図り、情報を共有して一緒に活動していける風土づくりを目指します。



3 目標とする事業（体系図）

● 既存事業 ○目標とする事業

<p>【基本理念】 誰もが安心して暮らせる支えあいのまちづくり</p>	<p>ふくしのまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●環境部会 ●健康 GO GO 講座 ●健康フェア ●脳トレ広場 ●一人暮らし年長者交歓会 ●ふれあい昼食交流会 ●ギラヴァンツ健康講座 ●年末夜警 ●健康料理教室 ○連絡網の拡大 ○各区にサロンを立ち上げる ○困りごとの解決
	<p>子どもとの交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休み『いきいき体操』 ●子どもたちより年長者への年賀状作成 ●芋ほり大会 ○子どもニュース体験 ○子ども会 ○分団行事 ○盆踊り ○相撲大会 ○体験学習 <ul style="list-style-type: none"> ・昔話の紙芝居 ・水玉づくり ・交通講座（自転車） ・PTA との協働 ・登下校の見守り ・昔あそび
	<p>地域の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●社協だより ●グラウンドゴルフ ●バス研修 ●ふれあいまつり ●餅つき大会 ○交流の場で情報共有 ○移動販売 ○低料金のバスの巡回 ○お助け隊



4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係団体・機関と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していくことにしました。

重点実施項目	ラジオ体操でつくる ふくしのまち 黒崎						
1 課題背景及び地域の現状							
<p>黒崎地区では健康づくりの一環として黒崎まちづくり協議会による、夏休み『いきいき体操』を実施しています。現在市民センター横の公園で実施していますが、年々と参加者が高齢化しており、遠距離の方は参加しにくいのが現状です。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>世代を問わず、いつでも誰でもが気軽に参加できる『ラジオ体操』に着目し、習慣化による自らの健康づくりや生涯スポーツの推進と地域の福祉団体を含めた世代間や地域間の交流による地域コミュニティの向上を目標とします。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	備考
夏休み『いきいき体操』の新しいかたちづくり	地域の福祉関連諸団体 黒崎まち協 市民センター	→					既存事業の再構築
誰もが参加しやすい体操場所を考える	PTA 自治区会	→					自らの健康づくり 見守り活動の推進
新しい体操場所での世話人を募集する	黒崎まち協 自治区会 インクルハ千代 あじさい保育所 社会福祉施設	→					小地域でのリーダーとなる人材発掘
スポーツイベントを開催する	黒崎まち協 市民センター インクルハ千代 あじさい保育所 社会福祉施設		→				新たな一体感の実感と醸成
夏休み以外の日にもラジオ体操を拡げる	黒崎まち協 自治区会 インクルハ千代 あじさい保育所 社会福祉施設				→		生涯スポーツの推進 地域医療費の削減
黒崎ラジオ体操普及会(仮称)を設立する	黒崎まち協 市民センター インクルハ千代 あじさい保育所 社会福祉施設					→	活動の維持・発展と意見交換の場
学校関係への広報啓発	黒崎まち協 市民センター インクルハ千代 あじさい保育所 社会福祉施設					→	市民との協働による地域コミュニティ向上

重点実施項目	子どもたちと高齢者が交流できる いきいき ふるさとづくり						
1 課題背景及び地域の現状							
<p>黒崎地区では近年新築マンションが増加していますが、逆に 14 歳以下の児童数は漸減しています。子どもたちと地域の交流の場、特に高齢者との交流の場もあまりありません。</p> <p>子ども参加型の行事等も少なく 市民センター主催の子ども講座だけでは限界があります。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>黒崎地区には由緒ある神社があり、春・夏・秋の大祭をはじめ黒崎祇園山笠もあります。それらに関連した子ども参加型行事を提供し、昔あそびの伝承を高齢者と交流する場として、地域全体で高齢者と子どもを見守る、見守られる居場所づくりを目指します。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	備考
もっともっと PTA (PTA よりニーズの聴き取り)	PTA	→					保護者より ニーズを聴く
発見!あそびの達人 (人材の発掘と育成)	黒崎中央小学校 PTA 黒崎まち協 市民センター 学童保育クラブ	→					連携する機関を 通して広報する
昔あそびって、 けっこうおもしろい (昔あそびの伝承)	黒崎中央小学校 PTA 黒崎まち協 子育てサポーター 学童保育クラブ	→	→	→	→	→	昔あそび体験 コーナーづくり
神社やお寺は昔、 あそび場だった (歴史の伝承)	黒崎中央小学校 PTA 神社仏閣 自治区会 学童保育クラブ	→	→	→	→	→	灯籠づくり 竹ぼっくり体験
黒崎祇園山笠の 金色、銀色の玉は なに?	黒崎中央小学校 PTA 各山笠 自治区会 学童保育クラブ	→	→	→	→	→	水玉づくり体験
もっと学童行事へ 参加しよう (学童行事への協力)	学童保育クラブ インクル八千代 あじさい保育所 社会福祉施設	→	→	→	→	→	もちつき・ そうめん流し



重点実施項目	商店街と地域住民の融合 および人材発掘						
1 課題背景及び地域の現状							
<p>地区には北九州市で有数の規模・歴史を持つ商店街があります。しかし、商店街との交流が少ないため社協などのイベント協力は限定的です。</p> <p>一方、商店街で働く人々の多くは地域外から通勤しているため地域の福祉に関する協力体制ができていません。結果として地域の停滞及び福祉機能の低下につながっています。</p> <p>次世代の人材を育成することが必要です。今は情報交換が少なく活動を知ることができていません。このため、PTAのお手伝いをしたくてもできていないのが現状です。</p> <p>また、市民センターへ情報の提供が少ないので、色々な地域活動が単発的になっています。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>商店街との交流を深め、連携していきます。情報を共有して一緒に活動し、より良い地域づくりを実現します。黒崎中央小学校 PTA を応援・支援して活動のさらなる活性化と人材の発掘を目指します。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R5	R6	R7	R8	R9	備考
商店街などと意見交換する『場』を作る	商店街連合会 自治区会 市民センター 神社仏閣 インクル八千代 あじさい保育所 社会福祉施設	→					
情報やアンケートを実施して課題と取組みを明確にする	商店街連合会 自治区会 市民センター インクル八千代 あじさい保育所 社会福祉施設	→	→				
具体的な取組みを開始する	商店街連合会 自治区会 市民センター インクル八千代 あじさい保育所 社会福祉施設		→	→	→	→	
PTA と意見交換する『場』を作る、応援の組織づくり	PTA 黒崎中央小学校 黒崎まち協 市民センター	→	→				
人材の発掘	幅広く呼びかけ		→	→	→	→	



第4章

計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、既存の地域活動と連携を図りながら、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 地区社会福祉協議会総会等を通じた活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布などを通じた地区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、「黒崎地区小地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

「黒崎地区小地域福祉活動計画推進委員会」を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)

委員会では、各団体との連携を図りながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点(2025年度)では計画全体の中間見直しを、最終年度(2027年度)には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



参考資料 【黒崎地区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 黒崎地区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	花田 修	黒崎地区社会福祉協議会	会長	
2	磯邊 信也	黒崎第12区自治区会	会長	
3	渡邊 靖久	黒崎地区民生委員児童委員協議会	会長	
4	安達 マキ代	黒崎地区社会福祉協議会	広報部長	
5	磯邊 恵理子	黒崎地区社会福祉協議会	福祉協力員	
6	谷 多香子	八幡西区シニアクラブ連合会	黒崎地区理事	
7	橋本 舞	インクル八千代	副事業所長	
8	井上 明美	黒崎地区民生委員児童委員協議会	民生委員	
9	中川 由香	黒崎地区社会福祉協議会	広報副部長	
10	黒瀬 眞知子	少年を守る黒崎環境浄化推進協議会	事務局長	
11	吉田 美佐夫	黒崎地区社会福祉協議会	会計	
12	大石 真純	NPO法人北九州あいの会	副代表	
13	古場 宏子	あじさい保育所	所長	
14	河野 ハツ子	黒崎地区社会福祉協議会	福祉協力員	
15	緒方 千都子	黒崎地区社会福祉協議会	FNW部長	
16	山内 由美	9区サロン	担当	
17	廣瀬 幸	黒崎市民センター	館長	
18	堀 敬治	八幡西消防団第一分団	団長	

2 黒崎地区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R4年 6月 8日(水)	・計画策定における説明会
2	R4年 8月 10日(水)	・班分け 今後のスケジュールについて
3	R4年 8月 17日(水)	・模造紙を使用して地域の課題等を抜き出し
4	R4年 9月 17日(水)	・重要だと思ふ課題について協議
5	R4年 10月 12日(水)	・基本目標を策定 既存事業の書き出し
6	R4年 11月 9日(水)	・重点実施項目の取り組みについて
7	R4年 12月 14日(水)	・基本理念、既存事業、重点実施項目の確認
8	R5年 1月 11日(水)	・重点実施項目にそつた年次計画の作成
9	R5年 2月 8日(水)	・計画書・概要版の編集作業
10	R5年 3月 8日(水)	・計画書・概要版の最終確認



社会福祉協議会のイメージキャラクター

プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)



黒崎地区社会福祉協議会

〒806-0022 北九州市八幡西区藤田 4-1-1 黒崎市民センター内
TEL 093-641-4106 FAX 093-641-5300

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1-6 ウェルとばた内
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

